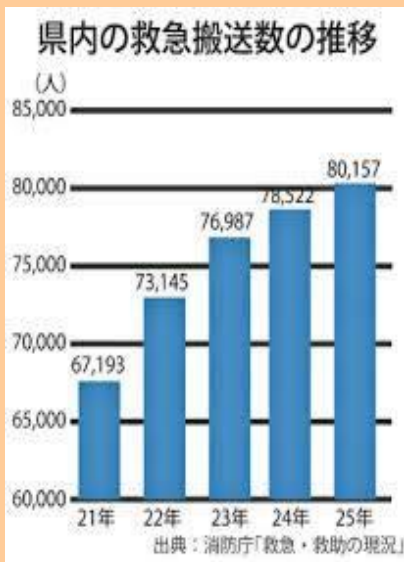


第7回 高崎市救急医療研究会が開催されました

平成27年1月、高崎市保健センターで開催されました。当院はホスト病院として運営を担いました。研究会では当院の救急科部長 木村圭一医師が『救急で迷ったら』と題して講演を行いました。更に、高崎市等広域消防局の警防課 小池課長補佐より『群馬県救急搬送システムの活用と高崎・安中医療圏の特徴』と題してご講演をいただき、救急搬送を短縮するための様々な取り組みによって成果を上げた報告がありました。本研究会を通して、医療機関と消防局の相互理解と信頼の構築が必要不可欠であると実感させられました。今後も高崎・安中二次医療圏の救急医療を担うため、より一層邁進してまいります。



当番病院挨拶をする関原院長



『救急で迷ったら』を講演した木村医師



総合司会を務めた石山医師

当院の生体間腎臓移植手術が40症例目を迎えました

平成23年から東京女子医科大学 腎センター外科チームと提携して試行してまいりました生体間腎臓移植手術が平成27年3月で40症例を達成することができました。

日本の透析療法のレベルは世界最高水準ではありますが、患者様にとっては時間的制約、食事制限、水分制限など大きな負担をさけることはできません。

腎移植は、慢性腎不全の治療法として唯一根治を期待できる方法です。そして生体腎移植は、遠い世界の話ではなく、身近な治療法のひとつになりつつあります。

